

平成 29 年 12 月 1 日

**公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会議事録（12 月期）**

【出席者】（敬称略）

濱田、石丸、岡部、片桐、木村、葉木、若笠、事務局天寺

沢野推進委員会委員長、森村アドバイザー

1. 濱田代表理事 挨拶

バリ島の噴火をはじめ、地球規模で地殻変動が起こってきているようだ。幸い、日本はこの間、大きな自然災害に見舞われることなく過ごすことができた。

社団としては、一応、今月で事業年度は終了となる。今期を振り返り、次期の活動の糧として欲しい。

2. 推進委員会澤野委員長 委員会報告

添付資料「事業報告と今後の予定」のとおり。

- SL 委員より推進委員会の基礎講座について、講座で、社団 SL ネットの活動紹介や、地域ネットへのつなぎをして欲しいとの意見。推進委員会でも来年度にむけて講座全体を見直し、地域講座のあり方を検討していきたい。

3. 公益社団 SL 災害ボランティアネットワークからの報告

添付資料「運営委員会議事」のとおり。

- 2018 年事業計画および収支予算書が理事会で承認された。
- 第 5 回定時社員総会の場所および議事内容を確認した。日時は 2018 年 3 月 24 日（土）13:15～16:00 場所は市ヶ谷 TKP カンファレンスセンターとする。同会場ケータリングで懇親会を検討したが、費用が高いため、総会のみ開催とする。
- SL 企画セミナー「初心者のための DIG 演習」は参加申込者 20 名。12/4 から始まる。
- 防災談話室@mansion 第 4 回は年明け 1/10(水)に予定している。

4. 各地域の活動報告

千葉県ネット（片桐）

- 千葉県ネットでは、11/12 県ネット秋季研修として、九十九里・海匝災害史を巡る視察研修を実施した。参加者 22 名。八日市場市付近で九十九里浜の地形の説明を受け、旭市防災記念館で館長から説明を受け、匝瑳市の津波避難タワーにも上がった。元禄地震の津波被害慰霊碑なども見て周り、過去の地震災害の教訓を学んだ。
- 県ネット活動報告会を H30 年 1/27(土)に実施することとなった。13:30～報告会 15:30～研修会 17:00～親睦会 を予定している。
- 市原市ネットでは、石渡哲彦千葉県推進委員長とともに市原市長を表敬し、地域での SL 活動について報告した。
- 12/9 松戸排水機場にて水防訓練を実施する

- 11/26、12/2,3 の 3 日間、社団 SL ネットの受託事業として船橋市地域防災リーダー研修を実施。1 日目はマンション向けの防災講座を行った。非常に有意義な意見交換ができた。

埼玉県ネット（若笠）

- 11/12 千葉県ネット主催のバス見学ツアーに埼玉ネットから 3 名参加した。
- 12/2 県ネットの研修会でボラセン支援訓練を行う。
- 埼玉県ネットの活動報告会は 2018 年 1 月 28 日となった。

湘南ネット（葉木）

- 地元小学校の建替えがあり、土地柄、津波災害を意識した設計になっている。備蓄や搬送の動線なども検討に入れ設計している。2 階に体育館（避難所）5 階に防災倉庫を想定しているが、5 階から 2 階に重い備品を下ろしてくるのも大変。どこに設置すればよいか色々と検討している段階だ。

県央ネット（濱田）

- 11/3 座間市から表彰を受けた。
- 11/26 マイ発電所プロジェクトを実施。今回の参加者の中には、京都や長岡から参加してくださった方がいた。これまでで計 56 台を作成・頒布した。
- 学童・児童ホームでの防災対策について研修を行った。学校から学童までの間、さらには学童で過ごす間に災害が起きたとき、現在の行政の防災対策から抜け落ちている。スタッフの災害への意識が低い。災害伝言ダイヤル 171 の使い方について、アドバイスをしてきた。

6. その他

【次回の開催日】

2018 年 1 月 12 日（金）13 時 30 分～運営委員会
 理事会は 2 月 2 日（金）10 時 00 分～

2017年11月の事業報告と今後の予定 (11.10 11.30)
(12月1日/災害救援ボランティア推進委員会委員長 澤野次郎)

はじめに

- ・ 応急手当の模範例：5つの幸運で後遺症なし。
本人、医者、救急隊、近隣病院、高度な医療
- ・ 被災者生活再建支援への関心

1、防災とボランティアをめぐる情勢

1-1 社会全体(危機管理を中心に)

- ・ 11/29 北朝鮮のミサイル(火星 15)発射実験
- ・ 12/1 天皇生前退位日 2019年4月30日

1-2 災害,大規模事故分野

国内 ア 地震(気象庁発表で震度5強以上,首都圏は震度4以上、内閣府掲載)

日時	震央	M	深さ	最大	地域
----	----	---	----	----	----

イ 風水害(内閣府または消防庁災害情報掲載を主に対象)

ウ 事故等

エ 火山等

海外 ア 地震(USGC 発表、日付 UTC、Mw7 以上又は報道等で犠牲者多数)

日時	UTC	震央	M	深さ km	国	死者
11/12	1800	Halajah	7.3	19	イラク	530人
11/19	2243	Tadine	7.0	10	ニューカドニア	

イ 火山

- ・ 11/25 インドネシア・バリ島アグン山噴火

1963-64 噴火は、20世紀で世界最大規模の噴火の1つ

ウ 風水害

エ 事故等

オ テロ等(公安調査庁世界のテロ等発生状況等より)

1-3 防災行政等の動き

ア 政府[内閣府]

- ・ 11/25-28 世界防災フォーラム/防災ダボス会議 仙台

[気象庁]

[文部省]

イ 自治体

ウ 東日本大震災

- ・ 11/27 復興庁 避難・転居者数 7万9310人 前月比 - 2,556人 11/13付

オ 防災訓練等

1-4 災害ボランティア等の動き

1-5 注目すべきメディアと書籍等

ア TV [NHK]

イ 書籍

2、この間の主な活動と今後の予定

2-1 基盤としての総合的な災害ボランティア活動

A、災害ボランティアリーダー養成事業

ア S L 講座 9910 人 公認講座 2,230 人* 計 12,140 人

イ 本部主催の S L 養成事業

- ・ [報告]我孫子市講座 11/11-18-19 中央学院大学
- ・ [報告]横浜講座 11/24-25 横浜市民防災センター

ウ 大学等受託の S L 養成事業

- ・ [報告]明治大学講座 10/28-11/11-12
- ・ [予定]上智大学講座 12/2-3

B、防災 / 減災啓発推進事業

ア 本部等主催の防災啓発推進事業

イ 他主催の事業への協力

ウ 他主催の事業情報

C、S L ネットワーク / 災害ボランティア活動報告

ア 会議行事等

イ 賞 社会デザイン学会奨励賞 さま災害ボランティアネットワーク

・ 12/10 16 時 受賞式 & 公開講演会 立教大学

2-2 総合的な防災事業

A、シェイクアウト事業（防災訓練事業）

ア 到達点 2017 年 国内累計約 582 万人、世界で 5700 万人

イ 新規 2/16 11:00 シェイクアウト福島

ウ [報告]

B、防災教育推進事業

ア 防災教育チャレンジプラン・内閣府共催事業

・ [報告]防災こくたい 11/26 防災教育シンポジウム 共催 防災科研

イ 防災教育普及協会事業

ウ 学校・団体等防災教育推進事業

・ [各地]学校での防災教育支援

C、防災研究事業

被災者生活再建支援研究会

・ [報告]防災実務者セミナー 11/14-16 熊本・福岡
益城町訪問

3、事務局等

A、広報

12 月 25 日発行

以上

公益社団法人 SL 災害ボランティアネットワーク
運営委員会 議事

1. 報告事項

1.1. 2018年(平成30年)事業計画および予算案について

- 添付資料・2018年(平成30年)事業計画書
- 添付資料・平成30年度収支予算書内訳表

1.2. 第5回定時社員総会の場所および議事に付すべき事項について

日時：平成30年3月24日(土)

会場：市ヶ谷TKPカンファレンスセンター 6A (スクール形式で80席)

時間：13:00開場 13:15~16:00総会 16:00~18:00懇親会

議事内容:(案)

報告事項 2017年(平成29年)事業報告

第1号議案 2017年(平成29年)決算報告及び余剰金の取扱いの件

第2号議案 2018年(平成30年)事業計画の件

第3号議案 2018年(平成30年)収支予算の件

第4号議案 役員選任の件

懇親会についてケータリング(リーズナブルプラン 9品¥3000 +飲み放題¥2200)

2 運営委員の地域報告

2.1 SL企画セミナーについて

企画セミナー第2弾 企画責任者：一政 SL

テーマ：「初心者のためのDIG講習」

日程案：12月4日(月)、11日(月)、18日(月)、1月15日(月)

会場：かがやきプラザ4階研修室1.2を予定

防災談話室@mansion 企画責任者：木村 SL

11/8(水)ちよだプラットフォーム

- 添付資料・実施報告書

2.2 地域からの報告

3 次回運営委員会

2018年1月12日(金) 13:30~

以上